

<活動報告書>

フリガナ	カナガワケンリツフジサワコウカコウトウガッコウ	
①団体名・学校名	神奈川県立藤沢工科高等学校	
②担当者	フリガナ	
	氏名	
	所属 役職	総合技術科
	TEL	0466-43-3402
E-mail		
③申請テーマ	地域の特性を活かしたモノづくり～2020年東京オリンピックにむけた高校生のものづくり	
④活動期間	令和2年7月 ～ 令和3年1月	
⑤活動内容を記載	<p>本活動は3年生の「課題研究」という授業の中の建築木工班を選択した生徒が取り組みました。建築木工班は木材加工についての基礎的な知識や技能を学ぶことを目的にした授業です。また課題研究は自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力を身につけるとともに、課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識・技術を身に付け、発表会等を通して、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を育てる授業です。このメンバーが木材加工をいかして地域の役に立つことができないか話し合い、隣接する鎌倉市が東京オリンピックのフランスセーリングチームの事前キャンプ地（ホストタウン）に決まったことを知り、上級生が藤沢市庁や神奈川県庁に寄贈した作品を参考にホストタウンロゴマークをデザインしたベンチを製作することにしました。話し合いのなかで3つアイデアができました。1点目はセーリングのロゴマークと文字が目立つようにしました。2点目は桧材を利用して木材の感触を大切にしました。3点目は、コロナの感染防止対策にもなるように、十分にゆとりをもって座れるように座面を幅広くしました。生徒はこのベンチを通して、「鎌倉市役所や鎌倉市の施設に設置していただくことで鎌倉市民だけでなく、鎌倉市に来る多くの方々に利用していただきたい」と思います。また、このベンチを通して、オリンピックのセーリング競技、鎌倉市やフランスに興味をもつ人が増えたらうれしいです。」と感想を述べています。</p> <p>今年度はコロナ禍で十分な教育活動ができませんでした。しかし、密を避けた授業形態や短縮授業等の感染防止対策を徹底する教育活動のなかで生徒達は個々の知識技能を高める大切さだけでなく、集団の中で議論をしながら課題を解決していくことの大切さを学んだと思います。新しい生活様式と呼ばれる急激な社会状況の変化に対応した生徒の柔軟な態度は、社会の変化に対応できる能力を身につけるという課題研究の目的を十分達成したと思います。</p>	
⑥活動費用合計	230,000円	
⑧別紙説明資料の有無	ある ・ なし	

<活動状況写真>

【写真1】



(状況説明)
のみで切り欠きをしています。製作にあたり木材の材質にもこだわりました。使用木材は桧を主な材としました。桧は耐水性にも、軽軟・肌目は緻密で特有の芳香と美しい光沢をもちます。また靱性に富み、狂いが少なく加工性もよい理由から桧にしました。この美しい年輪を活かすように表面はヤスリ掛けをしてバリをなくして、手で触って木の温かみを感じられるように加工しました。また角は丸みを持たせることで怪我防止対策としました。

【写真2】



(状況説明)
製作するにあたり、工夫した点の1つに文字をわかりやすくしました。セーリングのロゴマークとFRANCE X KAMAKURAの文字が目立つように工夫しました。ロゴマークは見る角度が変わってもきれいに見えるように深くまで塗装し、文字は遠くからもわかるようにペイントだけでなく焼き目をいれました。

【写真3】



(状況説明)
2月24日にベンチ3脚を鎌倉市役所に寄贈しました。寄贈式は緊急事態宣言発令中のため引率教員と代表生徒1名が参加しました。式では生徒が副市長から感謝状を受け取りました。ベンチは市役所および市立体育館に設置され来庁者に利用される予定です。生徒たちも寄贈できたことをとてもうれしく誇りに感じています。また、寄贈に先立ち2月8日に地元の情報誌「タウンニュース藤沢版」の取材を受けました。生徒は緊張しながらも記者からの質問に一生懸命答えていました。掲載された記事を別紙説明資料として添付させていただきます。



ホーム

横浜

川崎

相模原・東京多摩

県央

横浜府・三浦

湘南・東西

藤沢版

掲載号：2021年2月19日号

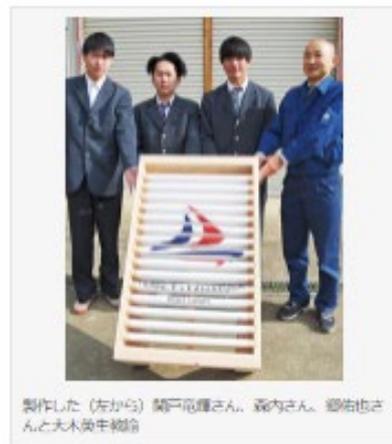


ベンチで繋ぐ五輪の輪

藤沢工科高校生が製作

写真

県立藤沢工科高校の生徒がこのほど、五輪競技のセーリングのロゴマークが描かれた、手作りの木製ベンチを製作した。同校3年生が履修する「課題研究」の授業の一環。その内「木材加工」を選択した13人で、3つのベンチを仕上げた。



製作した（左から）関戸竜輝さん、森内さん、郷祐也さんと大木英牛顧問

同校ではこれまで、五輪のロゴマークをデザインしたベンチを製作し、藤沢市や神奈川県などに寄贈している。今回は、フランスセーリングチームのホストタウンの鎌倉市に寄贈するため、同市のホストタウンロゴマークをデザインしたベンチを製作した。

製作期間は4カ月。老若男女が安心して利用できるようにと角を丸くし、木を組み合わせて強度を高めるなど工夫。木の温もりを生かした横65cm、縦106cm、高さ42cmの立派なベンチが完成した。リーダーを務めた森内剛さんは「一生懸命作ったので大事に使ってくれたらうれしい」と話した。

ツイートする | シェアする | LINEで送る | フックマーク

オフィス以外で
集中できる場所を

HIT
HUMAN FIRST TIME

野村不動産

意見広告・議会報告

政令の村へ



藤が咲く？ 観地広高
コロナ禍の前期適用に懸念
永戸正志 / 前衆議院議員
2月12日号

あっとほーむデスク

2月19日0:00更新

2月12日0:00更新

2月5日0:00更新

・藤沢版のあっとほーむデスクへ

最近よく読まれている記事

「お役所仕事」37年連続続出